

「アートマイル壁画展 at JICA 地球ひろば」(2008.2.5-17)

～壁画でつなげよう！子ども・世界・平和～

ジャパンアートマイル代表 塩飽 隆子

2006年度に日本の小中学生とシリアのパレスチナ難民キャンプの小中学生が交流して共同で5枚の壁画を制作した。その成果は国内外で認められ、2007年3月に文部科学省主催の「第7回インターネット活用教育実践コンクール」で新聞社賞を受賞した。同年10月に、パレスチナ難民を支援している国連機関UNRWAの事務局長が来日してJICAを訪問、緒方貞子理事長との公式会談の場で、JICAシリアが支援したアートマイル交流への賞賛と感謝の言葉があった。これを受けて緒方理事長よりJAMにJICA地球ひろばでの作品展示と講演の依頼があった。

1 日程について

＜アートマイル壁画展＞

〔日時〕2008年2月5日～17日

〔場所〕JICA地球ひろば 企画展示スペース

＜アートマイル講演会＞

〔日時〕2008年2月10日

〔場所〕JICA地球ひろば 市民の広場

＜アートマイル講演会＞

プロジェクトに参加した生徒たちの発表と、活動を支援したJAMメンバーの講演。

【Part 1】

「パレスチナ難民と交流した生徒からのメッセージ」 発表者：高校生二人

【Part 2】

「NPO・教育現場・大学からの視点」
講演者：塩飽隆子、清水和久、稲垣忠

2 ねらい

壁画展と講演会を通して、アートマイルの交流プロジェクトが、参加した双方の子どもたちの相互理解に大きな効果があることを示す。

3 内容

＜アートマイル壁画展＞

○5点の共同制作壁画の展示

《日本の参加校》

- ・石川県金沢市立扇台小学校（123組）
- ・大阪府高槻市立第一中学校
- ・兵庫県赤穂市SHERRY英語教室

《シリアの参加校》

ダマスカスのパレスチナ難民キャンプ内
UNRWA学校の6校

- 子どもたちの感想・アンケート
- プロジェクト紹介パネル
- 交流の様子ビデオ
- 交流の様子写真



4 成果及び課題

壁画展では、作品展示だけでなく、プロジェクトの趣旨や活動の様子をパネル・ビデオ・写真で詳しく紹介した。多くの来場者から、「交流の深さと作品のすばらしさに感動した」、「絵からプロジェクトの意味と成果を感じた」などの感想が寄せられ、交流の意義と成果を目で見える形で伝えることができた。

講演会では、異文化と出会って世界について考え始め、自分と真摯に向き合っている生徒の言葉は、交流が相互理解を深めるだけでなく、自己啓発を促すものであること実証した。

「NPO・教育現場・大学からの視点」では、異なる立場からアートマイル交流による国際交流学習を提案し、学校で実施する際の手引きとなるカリキュラムモデルを配布した。

作品展示と講演会が大変好評であったので、全国のJICA機関での展示の話が進んでいる。

